

2025（令和 7）年度 第 31 回日本マングローブ学会大会プログラム

令和 7 年 12 月 6 日（土）

8 : 30 受付開始（東京農業大学世田谷キャンパス 農大アカデミアセンター地下 1 階 横井講堂）	
口頭発表 / 一般の部（発表 15 分間，質疑応答 4 分間）	
9 : 30	ベトナム南部カンザー地区放棄塩田植林地の <i>Sonneratia alba</i> に立ち枯れ被害をもたらした気象場の解析 ○有坂早央（立正大学・学生）・藤本潔（南山大学・南遊の会）・石原修一（駒場東邦中高・南遊の会）・横山一郎（関東学院大学）・渡来靖（立正大学）・Huynh Duc Hoan（Can Gio Mangrove Protection Forest Management Board）
9 : 50	亜熱帯島嶼マングローブ湿地における炭素の埋没・大気排出・海洋輸送の統合的評価 ○中村航（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター・東京大学）・渡辺謙太（港湾空港技術研究所）・中島壽視（東京大学）・杉本亮（福井県立大学）・宮島 利宏（東京大学）・所立樹（国立環境研究所）・山口保彦（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター）・桑江朝比呂（港湾空港技術研究所）・佐々木淳（東京大学）
10 : 10	モーリシャス南東・東沿岸の塩分濃度分布とマングローブ林の生育状況 ○垣本 英臣・濱田誠一・小野文健・木本 弘之・森田 裕理（一般財団法人海上災害防止センター）
10 : 30	集水域からの土砂流出量の変化がマングローブ立地の動態に及ぼす影響— 一年 2.5 mm 前後の海面上昇が進む西表島と種子島の事例— ○小田原泰志（南山大学・院）・藤本 潔（南山大学）
10 : 50	多視点画像と LiDAR を統合した <i>Rhizophora</i> 林地上部バイオマス推定手法の検討 ○笠井 克己（東京大学）・藤本潔（南山大学）・後藤和久（東京大学）・古川 恵太（海辺つくり研究会）・小野賢二（森林総合研究所）・渡辺信（琉球大学）・羽佐田紘大（奈良大学）・神野空音・後川耕太郎（京都大学）
11 : 10	Changes in carbon stock and stand structure along a salinity gradient in the Sundarbans mangrove forest, Bangladesh ○Islam Md Minarul (Kyoto University) ・ Sakib Anjum(Khulna University), Md Kamruzzaman, Shinichi Tatsumi (Kyoto University)
口頭発表 / 中高生の部（発表 15 分間，質疑応答 4 分間）	
11 : 30	都立国立高校の探究活動における、マングローブの根の模型による水流のエネルギー減衰量の検証 ○浅川浩平（東京都立国立高等学校 2 学年）

11 : 50	昼食	役員会（12 : 00～） 場所：横井講堂 会議室
特別講演		
13 : 30	講師：向後 元彦（マングローブ植林行動計画） 「知的冒険としてのマングローブ - 半世紀の軌跡」	
公開シンポジウム 「ボルネオ島、マレーシア・サバ州のマングローブ林はどうなっているのでしょうか？」		
15 : 00	趣旨説明 馬場 繁幸（国際マングローブ生態系協会）	
15 : 10	講演 I 「The SFD-ISME mangrove collaboration project in Sabah」 ○Joseph Tangah (Forest Research Center, Sabah Forestry Department)	
15 : 25	講演 II 「サバ州のマングローブ生態系修復プログラムとこれに基づく生態系理解・修復戦略の標準化 -SFD・ISME による長期企画- 」 ○宮城豊彦（国際マングローブ生態系協会）	
15 : 40	講演 III 「3D スキャナによるマレーシア・サバ州におけるマングローブ支柱根の体積特性」 ○柳澤英明（東北学院大学）	
15 : 55	質疑応答・総合討論	
16 : 20	公開シンポジウム終了	
小休憩（10 分）		
16 : 30	総会（会場：横井講堂）	
18 : 00	情報交換会（会場：NODAI Science Port 5F ）	

20:00 終了予定